

印章の魅力・大切さを伝えるために

山梨県は全国一の生産量を誇る印章の産地で、「日本一のハンコの里」と言われる市川三郷町(旧六郷町)で印章業を継いで三代目となります。

私が、大学四年生のときに父が亡くなったため跡を継ぐことを決意、基本的な技術と知識を身につけるため、神奈川県印章職業訓練校で約5年間勉強を続けました。そんな時に出会ったのが二葉一成先生で、印章業に携わる人で知らない人はいないほど有名な方です。二葉先生の作る印章は、実用品としてだけではなく芸術品としての評価も非常に高く、印章業界に多大な貢献をされました。その先生の下で技術や職人としての心構えを約10年間学び、「煌雅^{こうが}」という雅号もいただきました。「望月煌雅^{みづき こうが}」の意味は、「満月が雅やかに煌めく」というもので、この名に恥じぬよう使い手が一生涯共にすることができる素敵な印章を作り続けたいと考えています。

現在の印章市場は二極化しています。全国各地の印章店がネットを通じて全国に向けて販売しています。また、彫刻機械の普及により機械さえあればだれでも印章を作ることができるようになりました。多くの店が安さと納期の早さで競争をしています。私は良い印影の印章を制作するために、彫刻文字を手書きし一本一本丁寧に仕上げることに気持ちを注いでいます。完成された印章をお客様に満足して使っていただけることが、私たち作り手にとって何ものにも代えがたい幸福だと感じています。そのために、日頃から文字の字源や字体について勉強を続け、自分を試すため印章彫刻の競技大会には積極的に参加しています。その結果、全国技能グランプリ優勝や「やまなしの名工」の表彰も頂きました。

これからも、培った印章技術を次世代へと継承しながら、日本のものづくりを支える職人の高い技術力や印章文化を世界へアピールしていくことで、印章の奥深さや携わる職人たちに目を向けてもらえるよう、尽力していきたいと考えています。

